

議会だより

かどがわ

NO.136

10

門川町議会広報

October.2013

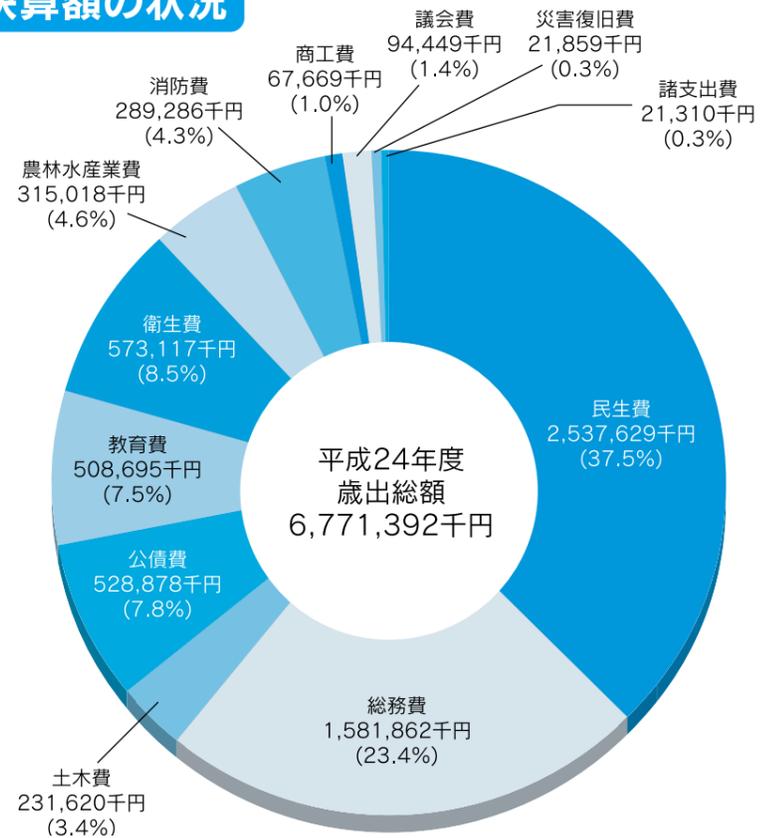


屋上避難所へかけあがる児童
(草川小学校避難訓練)

もくじ

平成24年度決算	P 2
補正予算	P 4
各委員会決算審査	P 5
一般質問 8人が登壇	P 8

目的別歳出決算額の状況



平成24年度決算 9月定例議会
特別会計・水道会計を全員一致で認定

	国民健康保険事業	後期高齢者医療
歳入	27億4890万2352円	3億7658万8291円
歳出	25億7682万986円	3億7505万8712円
差引残高	1億7208万1366円	1529万579円

	介護保険事業	簡易水道事業
歳入	14億7195万1628円	1606万5193円
歳出	14億1485万31円	1504万6194円
差引残高	5710万1597円	101万8999円

水道事業	
歳入	2億9648万1756円
歳出	2億7455万7976円
損益収支	2192万3780円

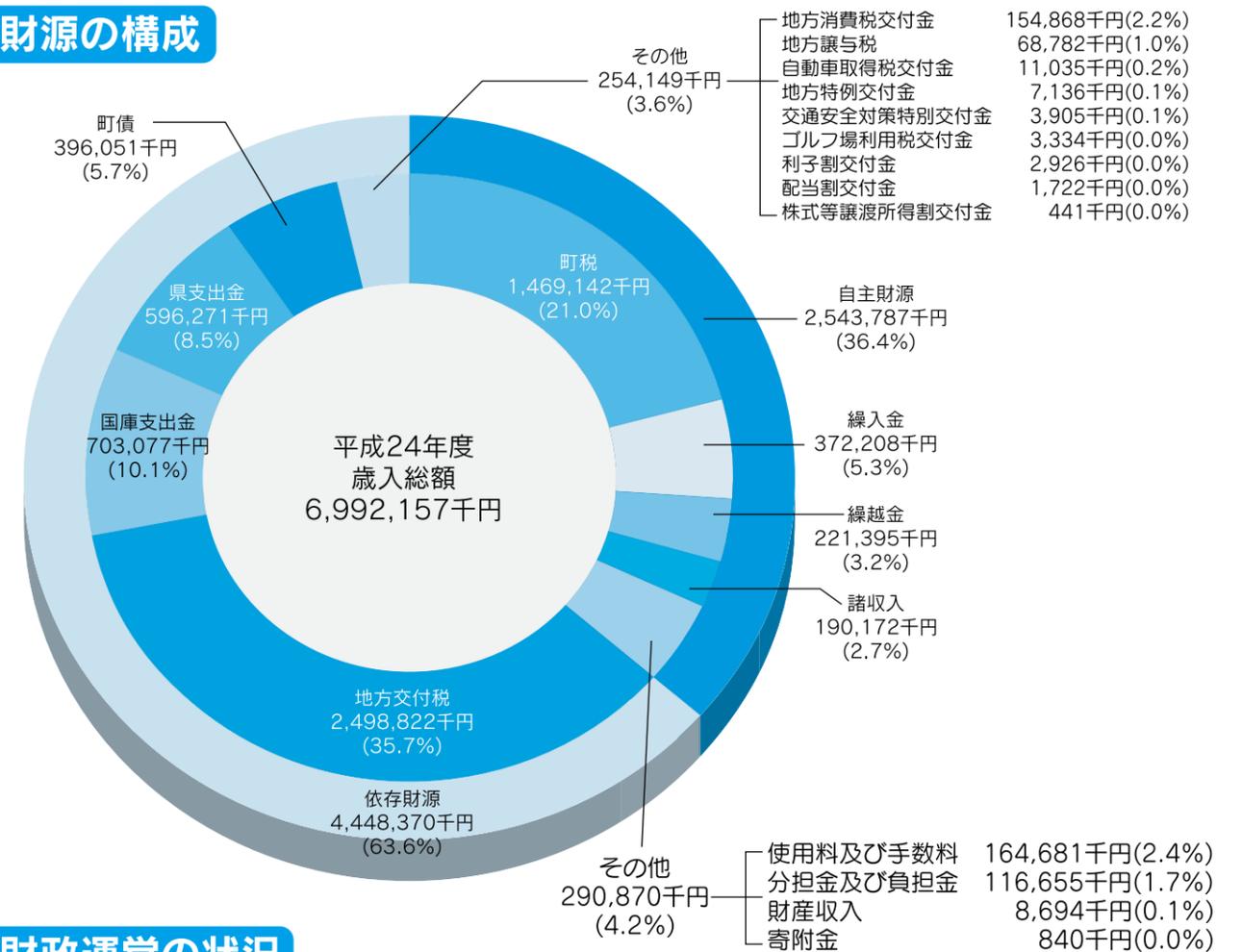


一般会計の認定案件を賛成多数(12:1)で可決

平成25年第3回定例会は、9月2日から9月24日までの23日間、開きました。今定例議会において、諸報告2件、決算認定6件、補正予算4件、規約変更1件、条例改正3件、町道認定1件、同意1件、その他1件(計19件)が審議され原案通り可決しました。

一般質問は、9月3日、4日に8人が登壇し、町政について論戦を行いました。

財源の構成



財政運営の状況

	22年度	23年度	24年度
財政力指数	0.387	0.372	0.359
経常収支比率	83.6	85.8	86.2
実質公債費比率	7.0	5.8	4.2

・自主財源 36.4%(昨年度35.8%) ・依存財源 63.6%(昨年度64.2%)
町民1人当たり町債(借金)残高277,000円(昨年度280,000円)

総務課

(歳入の主なもの)

国・県支出金

- ・衆議院議員選挙委託金
- ・公共施設再生可能エネルギー等導入推進基金事業補助金
- ・ケーブルメディアワイワイ株式配当金他

(歳出の主なもの)

一般管理費	4億2110万1523円
・人件費	3億5731万5037円
・地区会長活動事業	1930万2206円
・その他の経費	2820万8652円
・公用車管理事業	584万6655円
・文書広報費	1194万5272円
・常備消防費	1億9126万6000円
・非常備消防費	3525万6006円

企画財政課

(歳入の主なもの)

- ・消費税交付金 1億5486万8000円
- ・地方交付税 24億9882万2000円
- ・県支出金 2463万6800円
- ・繰入金 3億2068万1000円
- ・繰越金 2億2139万4473円
- ・町債 3億9605万1000円
- ・その他財産収入・諸収入

(歳出の主なもの)

- ・一般管理費 1004万8855円
- ・財産管理費 7億4965万1581円
- ・企画費 1862万5089円
- ・心の杜管理費 1億8741万3207円
- ・公債費 5億2887万8134円

過して購入費、ペレのメンテナンス費、運搬経費等、関係経費を考慮すると、導入以前と同程度になるだろうと考えている。

導入後まだ1年を経過していないが、ペレのメンテナンス費、運搬経費等、関係経費を考慮すると、導入以前と同程度になるだろうと考えている。

入後の燃料費はどのように入れているか。

備蓄量は当分の間十分と考えている。消費期限の近づいたものについては、避難訓練等で使用する予定。

災害時における備蓄食糧品の備蓄量は十分か、また消費期限は。

補助金には組織の活動への経費助成と避難経路等の環境への整備助成の2項目があり、それぞれ3地区、合計の6地区から申請があった。

自主防災組織整備事業補助金に対しての申請件数と内容は。

宮崎交通(株)と宮交タクシー(株)2社に委託していたが、24年度途中に全てを宮交タクシーに移行した。

主な質疑

廃止路線代替バス運行事業の状況は。

宮崎交通(株)と宮交タクシー(株)2社に委託していたが、24年度途中に全てを宮交タクシーに移行した。

本委員会の意見として、歳出において行政改革や集中管理等に より一般行政経常経費の節約等が図られ、実質収支比率が4.6%、単年度収支は3年連続黒字決算となっている。その点においては執行の努力がみられるが、住民福祉の向上をさらに図るために今後の努力を求めるものである。(記 森)

一般会計決算審査は各常任委員会全員による連合審査を行い、各課担当職員より関係資料の説明をもとに慎重に審査しました。採決の結果、全員意見なく認定すべきものと決定しました。

総務財政委員会

議会事務局

議会費 9444万9252円

- ・議員報酬 3651万4000円
- ・共済費 2370万2266円
- ・旅費 275万7430円

公平委員会費 33万7740円

監査委員会費 111万8000円

税務課

町税収入 14億6914万2006円(前年度比減少)

- ・個人町民税 5億431万8983円(増収)
- ・法人町民税 9862万3409円(増収)
- ・固定資産税 6億4327万5562円(減収)
- ・その他…軽自動車税、たばこ税等

会計課

平成23年度よりコンビニ収納取り扱いを行っており、24年度の取扱件数は12,129件、収納金額1億2097万5773円で前年と比較すると、2,533件、2111万6191円増加しています。納税率アップに効果が上がっている。

平成25年度

一般会計補正予算(全員賛成)

中央公民館耐震改修など

歳入歳出とも 2億3188万3千円を追加
歳入歳出総額66億2380万1千円

◎主な歳入(金額は、万円未満を省略しています。)

- ・国庫支出金 3083万円 追加
- ・県支出金 689万円 追加
- ・特別会計繰入金 2517万円 追加
- ・繰越金 5011万円 追加
- ・町債 1億2770万円 追加
- ・基金繰入金 933万円 減額



中央公民館

◎主な歳出(金額は、万円未満を省略しています。)

- ・中央公民館(災害発生時緊急避難場所)耐震改修 1億1320万円 町債
- ・消防救急デジタル無線受令機整備(元気臨時交付金) 1800万円 国補助金
- ・都市公園トイレ整備(元気臨時交付金) 1320万円 国補助金
- ・林道大池小切畑線舗装工事 1000万円 県補助金
- ・漁港建設負担金(庵川、乙島防波堤機能診断業務) 850万円 町債
- ・予備費 942万円 一般財源

主な財源

ほか、大船分館建設補助、門川小学校運動場測量設計委託、遠見山森林公園周辺整備プラン策定事業の追加や、門川高校通線道路新設改良予算組み替えなど

特別会計補正予算

◎国民健康保険事業特別会計(全員賛成)

歳入歳出とも1億3451万5千円を追加
歳入歳出総額28億676万9千円

主な歳入

- ・24年度確定療養給付費交付金 2807万円
- ・繰越金 1億708万円

主な歳出

- ・国県償還金及び一般会計繰入金 4154万円
- ・予備費 9471万円

◎後期高齢者医療特別会計(全員賛成)

歳入歳出とも1094万2千円を追加
歳入歳出総額3億9856万8千円

主な歳入

- ・給付費負担金返還金 1137万円
- ・繰越金 △43万円

主な歳出

- ・一般会計繰入金 1184万円
- ・予備費 26万円
- ・保険料負担金 △116万円

特別会計補正予算は、いずれも平成24年度確定に伴うものです。(金額は、万円未満を省略しています。)



◎介護保険事業特別会計補正予算(全員賛成)

歳入歳出とも5882万1千円を追加
歳入歳出総額16億2323万9千円

主な歳入

- ・繰入金 445万円
- ・繰越金 5410万円

主な歳出

- ・介護保険計画ニーズ調査委託 350万円
- ・介護給付費準備基金積立 3484万円
- ・24年度精算国県等償還金 1263万円
- ・一般会計繰入金 558万円

文教厚生委員会

※文中の金額は10万の位を四捨五入しています。

一般会計

福祉課
歳出の主なものは、老人福祉施設入所措置費、重度障がい者医療費助成や障がい者自立支援給付、保育園運営費、児童手当、乳幼児やひとり親家庭医療費等の13億8千5百万円の扶助費、並びに国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療の三つの特別会計への繰入金7億1千5百万円である。



整備された門川中学校グラウンド

教育総務課

歳出の主なものは小中学校の消耗品や光熱費等の5千4百万円の需用費及び幼稚園就園奨励費等の補助2千2百万円で新規に門川中のグラウンド整備を行った。

町民課
歳出の主なものは戸籍電算化保守、妊婦・乳幼児健診および予防接種や各種健診等の9千9百万円の委託料、並びに二次救急医療体制整備、夜間急病センター運営等に係る4千8百万円の負担金及び補助金である。

また、学校給食費は、調理や配送業務の2千1百万円の委託料が主なものである。

社会教育課

歳出の主なものは文化・体育施設管理等の業務委託料6千8百万円や各種団体への1千7百万円の補助金である。

図書館費では、業務委託料1千7百万円が主な歳出である。当年度は図書2168冊を購入。

また、図書館開館10周年を迎えた。



3月、福島県の子どもたちを招き、ソフトボールを通じて交流を行なった。

特別会計

国民健康保険事業

単年度収支額は、4950万5559円の

主な質疑

問 介護住宅改修費で利用した事業所の町内・外の件数は。

答 居宅介護では、町内17、町外28件。居宅介護予防では、町内9、町外40件。

問 ファミリー・サポート・センター(※)の会員数は。

答 本年3月末で、お願ひ会員46人、サポート会員24人。24年度は46回派遣した。25年度は、さらに利用増となる見込み。

問 やつちみろや健康づくりプラン21の今後

答 25年度に新プラン策定委員会を立上げ検討し、食、運動・休養、健診を3本柱に26年度から実施していく。

問 奨学金貸付金の未払金の対策は。

答 2か月1回程度、文書にて催告している。保護者や保証人とも相談しながら努力する。

(※) ファミリー・サポート・センター
地域において、子育てを手助けしてほしい人と、応援したい人が会員となり、育児について助け合う組織です。

(記 森川)

産業建設委員会

産業振興課

農業費1億3307万円の主なものは、農業委員会費、日向地域広域物流事業他への補助金・負担金、家畜診療業務などの負担金、防災ダム管理費、広域農道整備費負担金、広域営農団地農道整備事業費各施設管理及び各種の業務委託料である。国の新規事業として45歳未満の新規就農者へ給付金を交付した。

林業費9557万7672円の主なものは、有害鳥獣駆除他への補助金、治山林道事業の工事請負費、耳川林業事業協同組合への貸付金、各種の業務委託料である。

水産業費8636万5687円の主なものは、水産業小口融資他への貸付金・積立金、水産基盤整備事業他へ

の負担金・補助金である。

商工費6766万8538円の主なものは、商工会、観光協会事業などへの補助金、各施設使用料及び各種業務委託料である。

主な質疑

問 6次産業化に向けて特産品などの開発の動きはないのか。

答 岩ガキやどぶろくなどについて簡単な勉強会程度はしているが、具体的な会議は行っていない。

問 観光推進協議会の事業内容と実績は。

答 観光客誘致のツアー「たびはく」を設け、客を本町に呼ぶことを行っている。

問 門川湾の藻場の状況は。

答 ウニの駆除を行っている。磯焼けは減少しているが、長期的にみていく必要がある。



林道大池・小切畑線 現地調査

建設課

土木費2億3162万4799円の主なものは、道路維持工事、町道修繕工事、平城地区他排水路整備工事、松瀬川水流線道路改良工事、交通安全施設工事、都市公園トイレ建築工事などの工事請負費、住宅耐震補強及び改修補助事業などの補助金、国道388号整備促進期成同盟会他への負担金、スマートインター実施計画書作成業務、中須雨水ポンプ場電気保安業務、竹名淀原線用地測量業務などの業務委託料、町道中須区画9号線改良事

業に伴う土地購入などの公有財産購入費となっている。

主な質疑

問 都市公園に新設されたトイレの電灯は、LED化されているのか。

答 現在はLEDではないが、今後新設する場合は検討していきたい。

環境水道課

環境衛生費1億1599万1588円の主なものは、日向東臼杵南部広域連合運営、広域連合東郷霊苑などへの負担金、合併処理浄化槽設置事業への補助金、各施設使用料及び各種業務委託料である。

鹿芥処理費1億990万1439円の主なものは、清掃工場改修工事の工事費、日向東臼杵南部広域連合ごみ運営事業などへの負担金、広域清掃工場クレーン用モーター修繕、光熱水費などの需

問 門川魅力発見塾は。問 設立準備委員会は委員8人で構成し、24年度は委員会を5回開催して協議し、設置要項を作成。定員は町内在住者30人で、年内に募集する予定。

本委員会の意見として国民健康保険事業では、赤字決算となり、財政運営が厳しい状況にあります。

依然、地方経済を取り巻く環境は、厳しい状況におかれています。財源確保と効率的な行政運営により、住民福祉の向上にさらに努めるよう要望します。

主な質疑

問 委託業務は検針業務の他に何かあるか。

答 配水タンクの清掃業務委託がある。

問 環境衛生費の役務費の手数料の詳細は。

答 河川海域水質検査を6ヶ所行っている。また上納屋汚水処理施設の汚泥運搬業務を町外の専門業者に依頼している。

本委員会の意見として、門川南スマートインターが完成した後の課題として、観光資源を活用した観光客の誘致や、新たな観光開発等について、様々な分野の人材による協議会等を経て観光事業の一本化を進め、観光産業の振興を図っていくことを求める。

(記 菊地)



クリエイティブセンター

社会教育課長
苦情やトラブルの報告はない。

町長
昨年4月に改定したばかりであり、適正な料金体系と考える。

町長
園夜間の体育館使用料を安くしてはどうか。

町長
行政にはあまりなじまないと考える。

町長
園民の幸せ度アンケート調査をするつもりはないか。

愛宕山を憩いの場に

森川 春夫



町長 多額の経費を要し、課題もある



中央公民館の上の墓地から

町長
当区域の整備には、用地買収の他、遊歩道等の造成や、各種施設等、多額の経費がかかり、また開発許可などの課題がある。

園愛宕山公園から中央公民館までの間に、桜を植樹して、住民がいつでも集え、憩える広場としたらどうか。
場所的に津波避難所になる。市街地に隣接し、展望がよい。
高低差を利用した健康ウォーキングコース、さらにアスレチック遊具など設置し、整備すれば、住民が日頃から利用しやすくなる。

こども議会の開催の考えはないか

小林 芳彦



町長 新春子どもの声を聞く会の発展・充実に努める



新春子どもの声を聞く会

教習長
新春子どもの声を聞く会を実施しており、本年度で6回目の開催となる。今後も町内の各小中学校と協議し、本会の更なる発展・充実に努める。

町長
園本町でも将来を担うリーダーの育成のための貴重な経験の場のこども議会の開催の考えは。

障がい者雇用
園障害者雇用促進法に関する法定雇用率が地方公共団体では、本年4月1日より2.3%になった。本町では達成されていない。今後の取組みと見解を伺う。

町長
本町においては2人の障がい者の雇用が必要とされている。町として、障害者採用計画を作成し、宮崎労働局等の関係機関と連携をとりながら障がい者の雇用を図っている。

衛生委員会
園労働安全衛生法第18条の衛生委員会の構成委員、開催状況等、また、職員の健康管理との関連性は。

町長
総括安全衛生管理者を副町長とし、その他の委員を町長が指名する。開催状況については、近年は召集を行っていない。



門川漁協が信用事業を譲渡したが 米良 昭平

町長

「魚の町」の定着につとめる

園門川漁協が信用機能がなくなつた現在、漁村地域はイベントに力を入れていますが、その継続性について町長の考えを聞きたい。

町長

信用事業を県信連に譲渡後、その業務の大半は漁協内のATMで実施されており、利便性の低下などは特に見受けられない。「みなと朝市」などのイベントは「魚の町」という町のイメージを定着させる意味でも重要。

園飯米農家は生き残るが、専業農家の推進には組織力が求められる。農業関係各種団体等を繋ぐ協議会を作ってはどうか。



町長

現行の組織で、農地の斡旋等には充分機能している。

園林業の振興策は。

町長

木材価格は昭和54年の4分の1になっているが、国県の制度を活用して支援していく。

園10年後の門川町のありべき姿をどう描いているのか。

町長

第5次門川町長期総合計画にしたがって「日本一住みよい門川町」の実現に向かって取り組んでいる。

園町民の所得の向上には、観光産業の推進が不可欠と思うが。

町長

観光客は、農家レストランや直売所など、顔の見えるものを求めている。町としては生産者が自分で客に働きかける取組みを推進していきたい。

今後は、町広報やその他、プラスチック回収説明会などでステーション利用をお願いし、清掃工場への直接搬入を減らすよう周知していく。



園7月21日に行われた参議院選挙では、県内で小林市に次いで低い投票率となったが、そのことを踏まえて①総括の必要があると考えるが。②今後の対策はどのように考えているか。

町長

①広報車での広報活動やポスター等を活用、町広報誌・町ホームページでの記事掲載などを実施している。

常時の啓発活動として、県選挙管理委員会と連携し「わけものの主張」や小中高校生を対象としたポスターコンクール等も積極的に取り組んでいる。

町長

園清掃工場の出入り口は、日曜日、特に年末年始になると長時間にわたり混雑しており、解消を図る上で出入り口の改善が必要では。

日曜や年末等になると、一日約8百台以上の利用があり、場内入口で搬入、搬出の計量を行うため、多々ときには長い列ができ、迷惑をかけている。

しかし、計量による重量把握はごみ処理上大変重要であり、出入り口を広げ計量所を増設することは、現状では費用が多額となり困難である。



清掃工場出入り口



情報の共有社会の構築に向けて

請閑 義人

町長 情報を町民と共有することは重要と認識

超高齢化社会に向かう中で医療費・福祉費等の負担増が避けられない状況での町長の認識は。

町長

ますます高齢者が増加していくなかで医療費・福祉に係る費用が増加していくことは想定される。

限られた予算の中で、それぞれが義務を果たし、お互いが助け合いながら、なぜ負担が増えるのか、負担増を抑える方法はないのか等の情報を、町民の皆様と共有することは、非常に重要と認識している。

町民への情報伝達手段としての区長会を通じての町報・回覧の周知度はどれくらいと認識しているか。

町長

町報は毎月発行し、区長会は2か月毎に開催している。

区長会を通じての情報、それぞれの地区により町民に行き届いていると考えている。また、ホームページにおいても情報を発信しており、周知度を高めるための手段は講じていると考えている。



町民窓口

これから高齢者の増加を踏まえ、さらにきめ細かな情報提供のやり方が必要になると考えるが、現状の対応についての認識は。

町長

高齢者のみならずすべての町民の皆様迅速かつ、確実な情報の伝達が必要であると認識をしている。

我が国の現状を受けて、本町でも世代間・業種間・地域間の情報を共有する為の、問題点の洗い出し・対応を検討する機関を設置する考えはないか。

町長

町民の方々への説明会では、行政側からの一方的な説明になったり、あるいは専門用語や難しい言葉等を使ったりして、情報が正確に伝わらないことも考えられるので、説明方法について事前に十分な打ち合わせを行い、また専門用語等をできるだけ使わないように配慮し、更には分りやすい例などを盛り込むなどして、情報が的確に提供できるよう今後は努めていきたい。



校庭や公園の芝生化を

菊地 稿治



町長 維持管理体制に課題があり芝生化は困難

園校庭や公園の芝生化による効果は大きなものがあると考えられる。教育面では、芝生の弾力性がスポーツ活動に安全性と多様性をもたらすし、環境教育の生きた教材として活用できる。

環境面では、強風時の砂ぼこりの飛散防止や夏季における照り返し、および地表面の温度上昇を抑制できる等芝生化には大きな効果が期待できる。本町においても導入を図ってはどうか。

町長

教育面や環境面に対して効果は大きいものと考えられる。

校庭の芝生化については、2点の課題がある。まず、維持管理をPTAや地域住民等によるボランティアと学校との協同作業で取り組む体制が必要となり、厳しいものがある。次に、学校の運動場

は多様な授業の利用に対応する必要がある。競技によっては、土の方がふさわしいものもあり、どの様に芝生化を実現していくのか調整が難しいと思われる。本町としては、以上の課題を解決しなければ校庭芝生化は出来ないと考えるが、今後、先進的な事例の研究は行っていく。

文化財の保護と活用はどつする。本町の第5次長期総合計画のなかで、長い歴史や風土に培われてきた有形・無形の文化財や先人・自然は門川の貴重な財産で、次世代に伝えていくために文化財などの調査と保護を進め、文化財に親しむ機会づくりや、伝統芸能などの後継者の育成を図る。とあるが、現在の状況と今後の取組みについて伺う。



門川城跡

町長 門川城跡の整備については、文化財保護審議会より、町有地とすること、県指定への働きかけをすること等の意見が出されている。今後、土地所有者による管理体制等を整えて頂きながら、地元の方々と相談していきたい。

次に庵川窯跡の整備事業については、窯跡は、昭和47年に発掘調査され、昭和59年4月町指定文化財となった。県内でも事例が少ない窯跡ということで、陶磁器研究者の注目するところとなっており、昨年度、宮崎県で開催された「九州陶磁器研究会」でも取り上げられ、多くの視察があった。

土品、調査に係る資料などの活用、充実を図っていく。



庵川窯跡・血山田



窯跡からの出土品



水永 正継

町内の病院で人工透析ができないか

町長 機会をとらえて話をしていきたい

間門川町内で人工透析を受けている人が60数人おり、近隣の病院に通院している。このことによる心身への負担は大きなものがある。町として町内の病院に人工透析ができるように働きかけはできないか。

町長 現在町内には人工透析ができる医療機関はない。町内の医療機関であれば負担の軽減にはなると思うが、延岡、門川、日向は同一生活圏と考えられる。

医療機関もスタッフの確保、設備などに多額の費用がかかると思われる。さらに公立医療機関ではないので、行政から設置について積極的な働きかけをすることは難しいが、町内の医療機関とは機会をとらえて話をしていきたい。



集団的自衛権について町長の見解は

集団的自衛権は集団的自衛権の行使を、年内にも可能にしようとしている。集団的自衛権の問題について町長の見解は。



町長 「憲法改正の議論」や「憲法解釈変更の議論」については、さまざまな主義・主張がなされている。言論の自由が保障されている我が国では、当然のことであり、広く議論がなされるべきである。集団的自衛権の問題については、国民的議論を踏まえ、国民の代表である立法府において、審議を尽くされるべきであり、その推移を見守っていきたい。

町道認定

国より国有財産を譲渡された法定外公共物である道路の町道認定（アゼ地）深坪線 延長239m）



アゼ地・深坪線

条例の一部改正

職員の給与に関する条例の一部改正 職員の給料月額について、平成25年10月1日から平成26年3月31日まで、給料支給額を1.5%減額するもの。

介護保険条例の一部改正 介護保険料に係る延滞金について、地方税法の規定に準じて改正を行うもの。

規約の変更

日向入郷地域障害者給付認定審査会共同規約の変更 本年4月1日から、「障害者自立支援法」が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」へ名称変更されたことによる変更。

後期高齢者医療に関する条例の一部改正 後期高齢者医療の保険料に係る延滞金及び還付加算金について、地方税法の規定に準じて改正を行うもの。

人事案件

固定資産評価審査委員の選任

本年12月11日をもって任期満了となる委員、本田和己氏（川内在住）の再任同意。

剰余金処分

水道事業会計決算の結果、当年度純利益が2192万3780円となったので、同額を減債積立金に積み立てるもの。

意見書

森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書 二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ「石油

（全員賛成）

道州制導入に反対する意見書

町村は、これまで国民の生活を支えるため、食料供給、水源涵養、国土保全に努め、伝統・文化を守り、自然を生かした地場産業を創出し、住民とともに個性あるまちづくりを進めてきた。それにもかかわらず、効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにするものであり、到底地方自治体と呼べるものではない。多様な自治体の存在を認め、個々の自治体の活力を高めることが、ひいては全体として国力の増強につながるものであると確信している。よって道州制の導入に断固反対するもの。

石炭税の税率の特例による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を求めるもの。

公共サービスの質の確保と地方自治体の安定的な財政運営を実現するため、平成26年度の地方財政計画、地方交付税総額の安定確保にむけて、社会保障分野の人材確保、農林水産業の再興、環境対策などの財政需要を的確に把握し、増大する地域の財政需要に見合う地方財政計画、地方交付税総額の拡大を図ること及び地方交付税の財源保障機能、財政調整機能の強化をはかり、小規模自治体に配慮した段階補正の強化、市町村合併の算定特別の終了を踏まえた新たな財政需要の把握について、対策を講じること

（賛成多数 8：5）

議会の動き

（第2回定例会終了後から第3回定例会終了日まで）

- 7月29日 産業建設常任委員会視察調査
- 8月5日 議会運営委員会
- 8月6日 全員協議会
- 8月8日 議会活性化特別委員会
- 8月8日 宮崎県町村議会議長会 正副議長研修会
- 8月12日 議会運営委員会
- 8月20日 産業建設常任委員会
- 8月22日 議会広報編集特別委員会
- 8月23日 議会運営委員会
- 9月2日～24日 平成25年第3回定例会

- 6月21日 議会広報編集特別委員会
- 6月26日 議会広報編集特別委員会
- 6月28日 国道388号整備促進期成同盟会総会 乙島島開き・安全祈願祭
- 7月1日 議会活性化特別委員会
- 7月3日 議会広報編集特別委員会
- 7月5日 九州中央自動車道建設促進沿線議会協議会 総会・決起大会
- 7月8日 議会広報編集特別委員会
- 7月23日 東臼杵郡町村議会議長会議員研修会
- 7月25日 宮崎県町村議会議長会議会運営委員会 正副委員長研修会



長寿に乾杯



みやざき犬のひい君とかあ君と一緒に(西門川児童館、小・中学校合同運動会)



議会傍聴のご案内
 次回の定例会は12月です。
 皆様の傍聴を心よりお待ちしております。
 お問い合わせ：議会事務局
 TEL 63-1140(内線271)



輝く青春の一コマ(門川中学校体育大会)

■ 発行者／門川町議会議長 安田茂明
 ■ 編集／議会広報編集特別委員会
 〒889-0696
 宮崎県門川町本町1丁目1番地
 TEL(0982) 63-1140



印刷／安井株式会社

議会広報編集特別委員会
 委員長 朝倉 利文
 副委員長 森 誠一
 委員 森川 春夫
 委員 菊地 稿治
 委員 森川 春夫

また議会だよりについてご意見をお聞かせください。

9月30日から10月1日にかけて全国町村議会広報研修に参加し、文章表現や紙面デザインなどの研修を受けた。今後もより読みやすい、議会だよりになるよう努力します。

9月24日、第3回定例会が終わりました。3年連続の黒字決算であり、また財政運営も県内町村では6番目で健全運営がなされている。

9月8日には、「2020年オリピック 東京で開催」の知らせが飛び込んできた。それまでには日本の景気も良くなり、社会保障制度も安心・安全なものに確立されていく欲しい。

● 編
 ● 集
 ● 後
 ● 記